

人吉市地域公共交通網形成計画策定調査業務委託

業務計画書

平成28年 7月

復建調査設計株式会社

目 次

1. 業務概要	1
2. 実施方針	2
2.1 業務実施方針	2
2.2 業務対象地域	2
2.3 業務フロー	3
2.4 業務内容	4
3. 業務実施体制	24
4. 打合せ計画	24
5. 成果品の内容・部数	25
6. 連絡体制	25
7. 工程計画	26
8. 成果品の品質を確保するための計画	27
9. その他	28

1. 業務概要

(1) 業務名 人吉市地域公共交通網形成計画策定調査業務委託

(2) 履行期間 自) 平成 28 年 6 月 15 日
至) 平成 29 年 3 月 30 日

(3) 発注者 人吉市地域公共交通活性化協議会

(4) 受注者 復建調査設計株式会社 熊本事務所

表 業務実施体制

	技術者名	所属・役職
管理技術者	竹隈 史明	九州支社 総合計画課 交通まちづくり室 室長
照査技術者	安達 誠	総合計画部 部長
担当技術者	1) 金沢 洋和	総合計画部 交通計画課 交通まちづくり室 室長
	2) 山下 大輔	総合計画部 交通計画課 交通まちづくり室 副室長
	3) 浅沼 淑子	総合計画部 交通計画課 交通まちづくり室 係長
	4) 宮崎 保通	九州支社 総合計画課 課長

(5) 業務の目的

本業務は、人吉市内の交通に関する様々な課題に総合的・効果的に対応するため、地域公共交通のマスタープランとして「人吉市地域公共交通網形成計画」を作成する。作成にあたっては、平成 27 年度に人吉球磨地域 10 市町村で作成した「人吉・球磨地域公共交通網形成計画」に基づき、人吉球磨の中心市として市民及び地域住民にとって利便性が高く効率的な地域公共交通を目指すと共に、持続可能な交通網となるように、まちづくりや都市計画、観光施策と連携した計画とする。

(6) 業務内容

本業務の作業項目を以下に示す。

- ア) 既存資料等の収集整理
- イ) 市民ニーズの把握
- ウ) 人吉市内地域公共交通の利用実態等把握
- エ) 公共交通空白地での実証運行
- オ) 人吉市地域公共交通網形成計画のとりまとめ
- カ) 地区別懇談会の開催支援
- キ) 協議会の開催支援

2. 実施方針

2. 1 業務実施方針

当計画の基本的な考え方

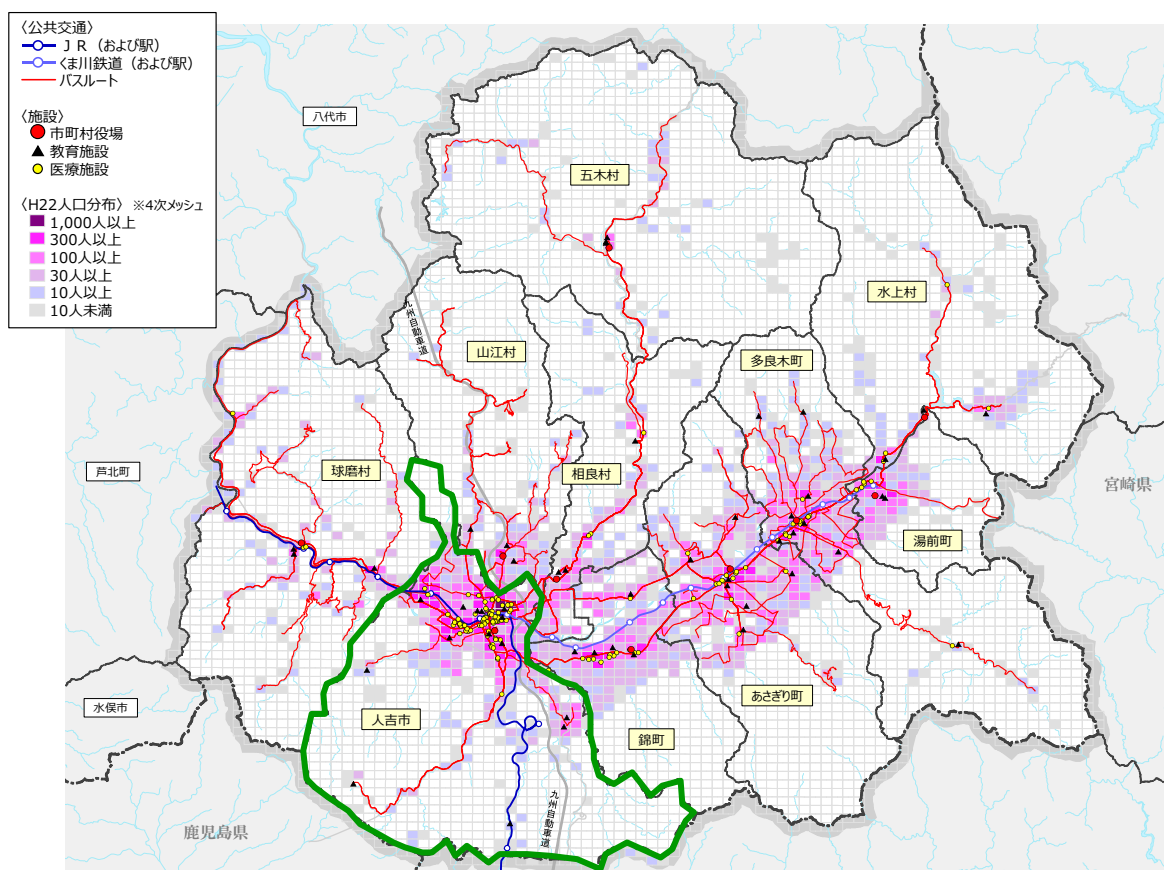
地域の持続的な発展・地域住民の日常を支える基盤として、使いやすく、無理・無駄がない **持続可能な地域公共交通体系** をつくります。

業務の実施方針

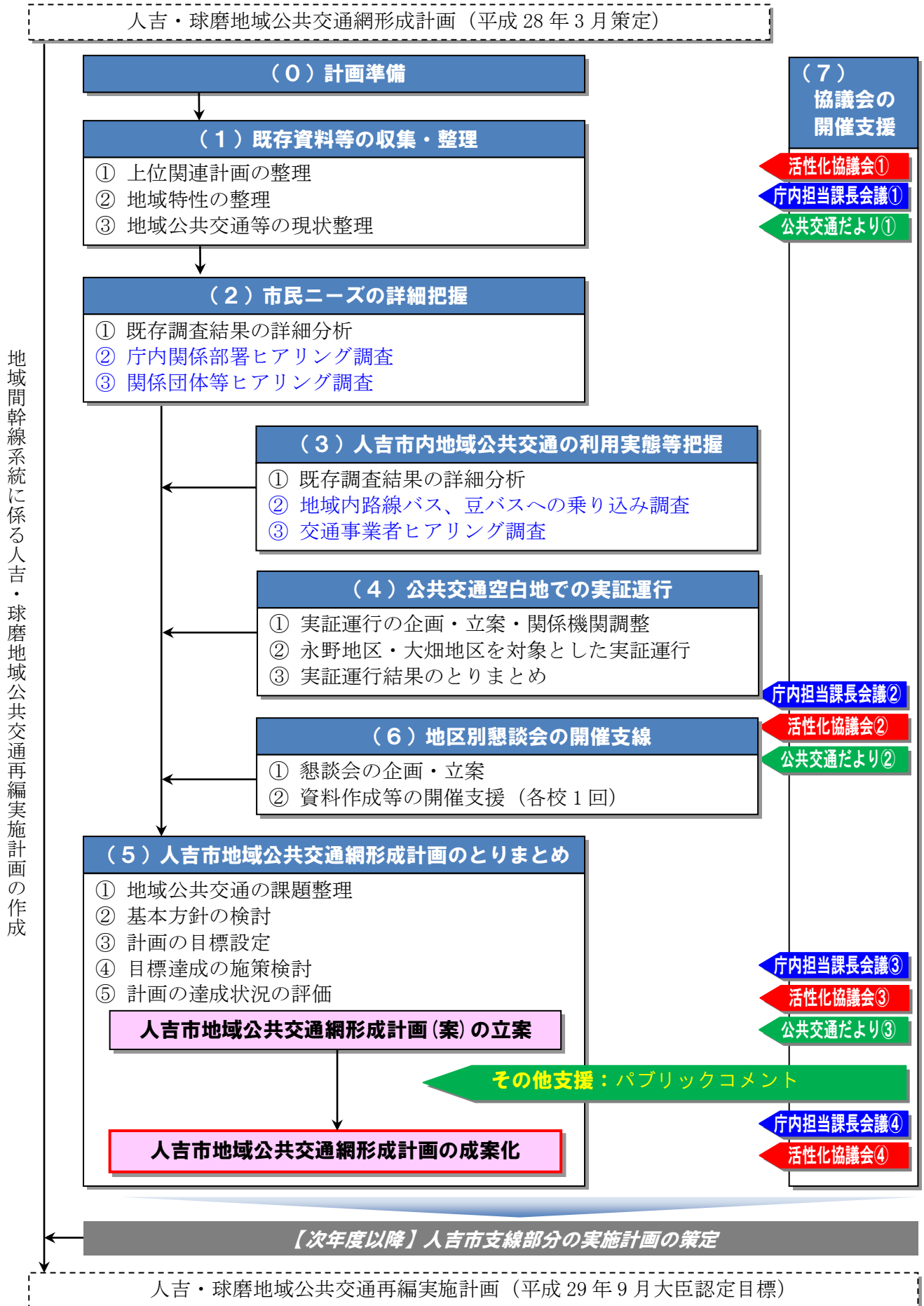
- ① 人吉・球磨地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の考え方や方向性との連携・整合性を保ちます
- ② 人吉市全体での詳細分析（市域を小学校区に分類）に加え、人吉球磨地域全体の観点から検討します
- ③ まちづくりや観光、福祉分野などの地域づくりとの連携を重視します
- ④ 持続可能な地域公共交通に向けた新たな仕組みづくりを検討します
- ⑤ 地域公共交通網の再構築に向けた継続的なモニタリングの手法を構築します

2. 2 業務対象地域

本業務は、人吉市を対象に実施するものの、人吉・球磨地域 10 市町村全体の観点から検討するものとする。



2. 3 業務フロー



2. 4 業務内容

(1) 調査等に関する全体体系図

◆ 地域住民や利用者、その他各立場による特性別、またトリップ特性別に、地域公共交通の使われ方を明らかにするとともに、地域公共交通に対する意向や要望等を詳細に把握します。



▲ 調査等全体体系図

(2) 既存資料等の収集・整理

- ◆ 上位関連計画、地域特性、地域公共交通等の現状について、人吉球磨地域全体を俯瞰しつつ、人吉市を対象に詳細な分析を行います。
- ◆ アウトプットとして、人吉球磨地域全体及び人吉市における拠点と軸の地域構造等形成状況を明確にします。

① 上位関連計画の整理

- ・計画の検討・立案に当たっては、地域が目指す将来像やまちづくり・地域づくり・観光づくり等の方向性、目標等を十分に把握した上で、地域公共交通の役割や位置づけ、方針・目標等を明確にすることが重要であることから、下記のような上位関連計画の整理を行います。

- ◇ 人吉球磨地域定住自立圏構想
- ◇ 第5次人吉市総合計画（後期基本計画）
- ◇ 人吉・球磨地域公共交通網形成計画・地域公共交通総合連携計画
- ◇ 人吉市都市計画マスタープラン
- ◇ その他、福祉・教育・医療・観光等に関する計画 など

② 地域特性の整理

- ・人吉市の人口の分布・年齢別構成・経年変化や主要施設分布など、計画検討に当たっての基礎データを収集・整理し、日常生活拠点の抽出や人の流れの実態等を把握するなど、きめ細かな分析を行います。

▼ 地域特性の整理項目(案)

項 目	内 容	使用データ
人口特性	人口分布（年齢階層別）	国勢調査等
	世帯数	〃
	高齢者単独世帯	〃
	高齢化率	〃
	将来人口特性	人口ビジョン等
地 形	地理的特性（高低差）	地形データ等
主要施設 (日常生活拠点等)	公共施設(公民館等含),教育施設(小中 高校等),医療施設,商業施設,金融施設 (銀行,郵便局),観光施設,福祉施設 等	地図、現地調査等
道 路	道路網,車線数,道路幅員	地図、道路網図等
人の流れ	通勤通学,買物,交流人口 等	国勢調査、消費者動向調査、 過年度調査結果等

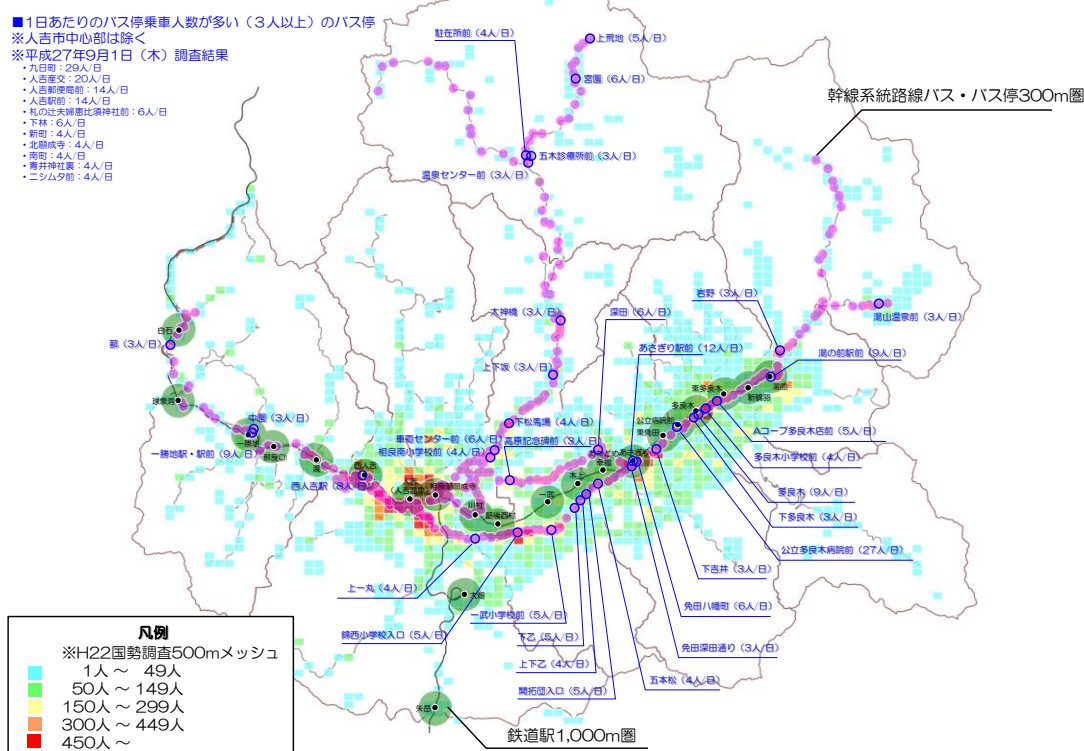
③ 地域公共交通等の現状整理

- ・人吉球磨地域及び人吉市の鉄道、路線バス、コミュニティバス、乗合タクシーなどの地域公共交通の現状（サービス状況、利用状況等）についての基礎データを収集・整理するとともに、タクシーやスクールバス、福祉輸送など地域の交通資源に関する整理を行い、地域公共交通が抱える課題や改善等の方向性検討の基礎資料とします。
- ・その他、現在の地域公共交通に関するターゲット等を導入経緯等を踏まえ整理します。
- ・また、乗り継ぎ拠点や利用の多いバス停など、拠点的なバス停について現地調査等を重点的に実施するとともに、GIS上で人口・集落や主要施設分布等とバス路線・バス停位置を重ね合わせることで、公共交通サービス圏の状況、都市機能集積状況と地域公共交通サービスの関係等を分析します。

▼ 地域公共交通等に関する現況把握の整理項目(案)

項目	内 容	使用データ
鉄 道	路線網、駅・結節施設	交通事業者資料等
	サービス水準（ダイヤ・運賃等）	〃
	駅別利用者数	統計資料等
路線バス	バス路線網、バス停位置	交通事業者資料、現地調査等
	サービス水準（ダイヤ・運賃等）	交通事業者資料等
	路線・バス停別利用者数	交通事業者資料、実態調査等
	路線別収支、補助路線、行政負担額	交通事業者・市提供資料等
コミュニティバス 乗合タクシー	路線網、停留所位置	交通事業者資料、現地調査等
	サービス水準（ダイヤ・運賃等）	交通事業者資料等
	路線別利用者数	交通事業者資料、実態調査等
	経費、行政負担額	交通事業者・市提供資料等
	その他（要員、車両等）	〃
その他	タクシー台数、運行状況	市提供資料（関係者へ調査）
	スクールバス等運行状況	〃
	福祉輸送等運行状況	〃

鉄道駅及びバス停カバー状況



▲ GISを活用した人口・地域公共交通のカバー状況・利用実態の分析結果(弊社実績)

(3) 市民ニーズの把握

① 実施方針（調査等全体）

- ◆ 既存調査結果を活用し、人吉市を対象とした詳細な分析を行います。
- ◆ 特に、現在の市民の移動実態や移動ニーズ（どの地域の住民が、いつ、どこに、どうやって行きたいと思っているのか）を詳細に把握します。
- ◆ 各地域公共交通のターゲット（誰が、どんな目的で利用するために運行しているのか）と、地域公共交通の使われ方とのギャップを抽出します。
- ◆ その他、潜在需要（ニーズ）の発掘を目的に、高齢者福祉・教育・観光・まちづくり・子育て支援等の観点から、補完調査を実施します。

② 市民ニーズの把握

1) 既存調査結果の詳細分析

- ・ 既存調査結果（特に、地域住民アンケート調査結果、高齢者アクティビティダイアリー調査、高校生通学実態調査等）を基に、人吉市民の移動実態を詳細に把握します。
- ・ 特に、潜在需要の発掘を目的に、高齢者や高校生などの交通弱者を重点的に分析します。

- ・ どこに住んでいる人が、どこに、何の目的で、どうやって移動しているのか？
- ・ 現時点で地域公共交通を必要としている人は？
- ・ 将来的に地域公共交通を必要としている人は？

2) 庁内関係部署ヒアリング調査（補完調査）

- ・ 各立場から、現在の移動支援等に対する実態やニーズ、さらには地域公共交通に求めるニーズ等について把握します。

▼ 庁内関係部署ヒアリング調査の実施方針(案)

項 目	実施方法・内容等
調査対象	福祉関係部署（高齢者支援課、福祉課）、教育委員会、観光関係部署、まちづくり関係部署（都市計画課）
調査方法	■直接訪問し、聞き取り
調査時期	■平成 28 年 <u>7 月下旬～8 月上旬</u>
調査内容	・ 今後の市の施策等の方向性 ・ 市民の移動等に対するニーズ ・ 移動支援施策等の実態 ・ 地域公共交通に求めるニーズ、今後の展開等の可能性 など

3) 関係団体等ヒアリング調査（補完調査）

- ・人吉市地域公共交通活性化協議会等の委員が所属する団体等を対象に、詳細なニーズ等について把握します。
- ・なお、意見聴取は、各団体で地域公共交通利用者もしくは必要とする当事者等に 10 名程度参加してもらい、グループインタビュー形式で実施します。

▼ 関係団体等ヒアリング調査の実施方針(案)

項目	実施方法・内容等
調査対象	観光協会、社会福祉協議会、町内嘱託員連合会、老人クラブ連合会、PTA 連絡協議会、子ども会育成連絡協議会等 ※各団体 10 名程度
調査方法	■直接訪問し、グループでの聞き取り調査
調査時期	■平成 28 年 <u>7 月下旬～8 月上旬</u>
調査内容	・関係者の移動等に関する実態 ・地域公共交通に対するニーズ、今後の展開等の可能性 など



▲ 他都市で実施した地域別に団体等を対象としたグループインタビューの例(弊社実績)

(4) 人吉市内地域公共交通の利用実態等把握

① 実施方針

- ◆ 既存調査結果を活用し、人吉市を対象とした詳細な分析を行います。
- ◆ 地域公共交通の利用実態を把握し、人吉市内完結路線に関して、利用区間、鉄道や地域間幹線系統など他の地域公共交通との乗り継ぎ実態等を整理することで、移動特性と地域公共交通体系のギャップを抽出します。
- ◆ 移動特性は、人吉球磨地域全体での移動か、市域を跨いだ移動か、市内のみの移動かという観点から分析します。

② 人吉市地域公共交通の利用実態等把握

1) 既存調査結果の詳細分析

- ・既存調査結果を基に、地域間幹線系統利用者における人吉市内での乗降状況等を整理します。
- ・また、地域間幹線系統と人吉市地域公共交通との乗り継ぎ実態等についても整理します。
- ・その他、乗合タクシー利用者に関しては既存アンケート調査の活用を前提としますが、必要に応じて追加調査（運行ドライバーから利用者への調査票の配布など）を検討します。

- ・ どこに住んでいる人が、どこに、何の目的で利用しているのか？
- ・ 既存の乗合タクシーへの改善要望は？
- ・ その他、地域公共交通に対するニーズは？

2) 乗り込み調査の実施

- ・地域公共交通の検討にあたっては、現在、地域公共交通がどのように利用されているかを詳細に把握することが重要です。
- ・このため、地域内路線バス及び豆バスを対象に、調査員の乗り込みによる乗降調査（OD調査）及びヒアリング調査を実施します。
- ・調査を実施することにより、

- ・ 系統・便別、駅別・バス停別の乗降者数
- ・ 地域間、バス停区間ごとの移動需要

の把握が可能であり、検討に当たっての有効な基礎データとなるほか、将来的に各施策のモニタリングのための貴重なデータとなります（バス路線再編の影響分析にも活用）。

▼ 利用実態調査の実施方針(案)

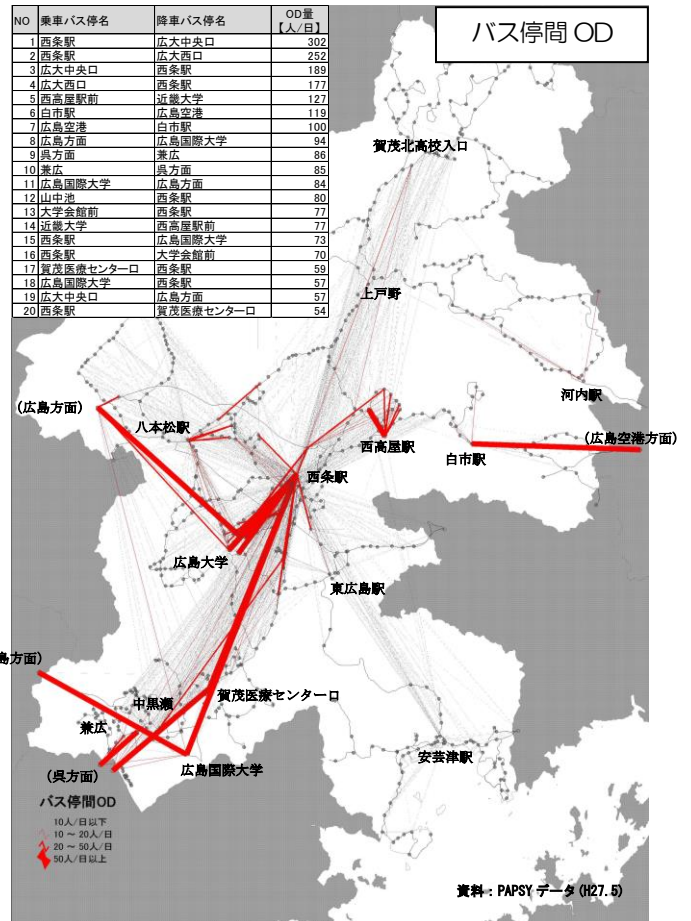
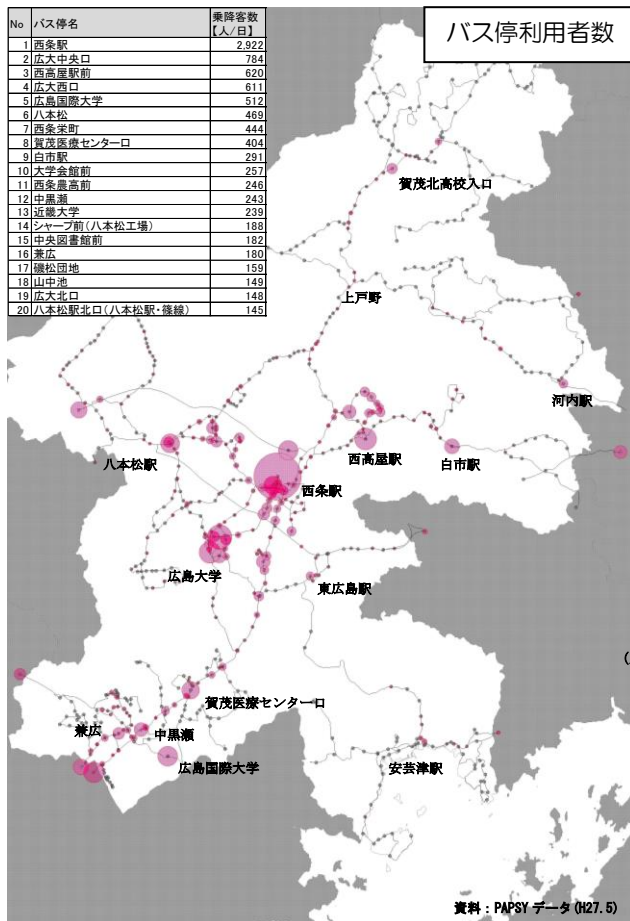
項 目	実施方法・内容等
調査対象	■ 地域内路線バス、豆バスの全利用者 ・ 地域内路線バス：平日1日、土日祝1日の全便 ・ 豆バス：月・火・木・金の全便
調査方法	■ 調査員が車内に乗り込み、可能な範囲で聞き取り調査 ※乗車時間内に聞き取り困難な場合は、予め返信用封筒を準備しておき、郵送回収
調査時期	■ 平成28年 9月上旬
調査内容	※乗車駅及びバス停、降車駅及びバス停は目視で全利用者把握 ・ 属性（居住地、性別、年齢、職業など） ・ 利用状況（目的・目的地、頻度、利用区間、利用時間帯など） ・ 自宅から乗車駅・乗車バス停までの交通手段・距離 ・ 降車駅・降車バス停から目的地までの交通手段・距離 ・ 地域公共交通の満足度 （運賃、便数、運行時間、経路、バス待ち・乗り継ぎ環境など） ・ 地域公共交通へのニーズ（最低限必要なサービス）、今後の利用意向 ・ 地域公共交通に対する要望、意見 など

3) 交通事業者ヒアリング調査（補完調査）

- ・交通事業者の立場から、地域公共交通の課題や展望、利用者の声等について把握します。

▼ 交通事業者ヒアリング調査の実施方針(案)

項 目	実施方法・内容等
調査対象	■ バス事業者 産交バス(株) ■ コミュニティバス・乗合タクシー運行事業者 タクシー事業者（人吉タクシー）
調査方法	■ 直接訪問し、聞き取り
調査時期	■ 平成28年 8月上旬
調査内容	・ 地域公共交通利用者の実態・ニーズ（利用者からの意見・要望） ・ 運行上の問題、運行に関するドライバーの意見（改善点等） ・ 将来展望（事業継続に当たっての要望等） など



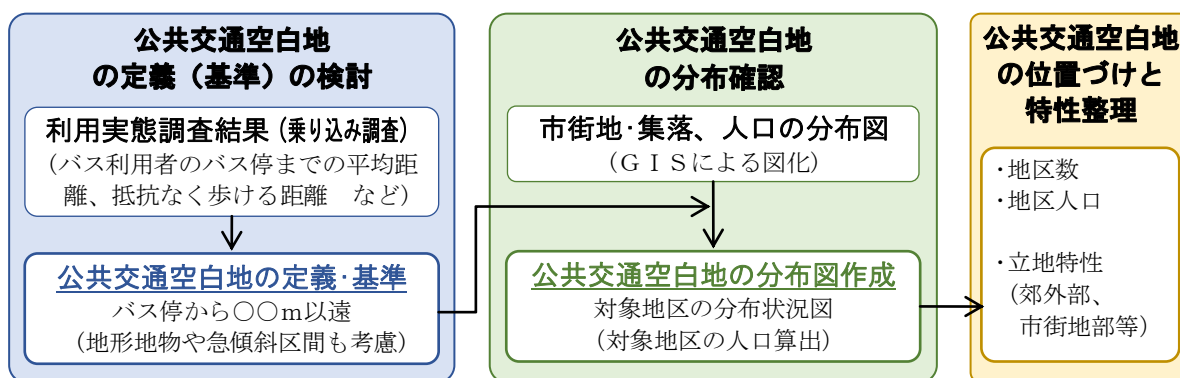
▲ 地域公共交通利用実態等に関するとりまとめイメージ(弊社実績)

（５）公共交通空白地での実証運行

- ◆ 公共交通空白地の定義づけとエリア設定を行ったうえで、全市的にみた実証運行の実施エリアの特性や課題を整理し、実証運行の意義や求められる視点（検証内容）を整理します。
- ◆ 実証運行を企画する際には、対象地区で住民との意見交換会（懇談会）を実施し、地区住民の移動の実態と解決すべき課題を明らかにしたうえで、実証運行の方針並びに運行内容等を検討します。
- ◆ 実証運行の結果から、対象地区での適切な運行システムのほか、全市的な公共交通空白地への対応方策を検討します。

① 公共交通空白地の再設定

- ・人吉市では、公共交通空白地として位置づけられている地区（永野地区）はあるものの、明確な定義・基準は定められておらず、全市的な公共交通空白地の分布は十分に整理・把握されていないものと考えられます。
- ・このため、バス停からの距離（例えば 400m以遠）等から公共交通空白地の定義づけを行い、市内での分布状況を確認し、対策を行うべき公共交通空白地の位置づけを行うことを提案します。



▲ 公共交通空白地の再設定のイメージ

② 実証運行の対象地区の検証・選定

- ・上記の整理をもとに、実証運行の候補地（案）とされている永野地区、大畑地区について、全市的に見た公共交通空白地のなかでの特性や対策重要性（人口規模、移動特性や移動困難性（例えば高齢者世帯の多い地区など））を評価します。
- ・その上で、今回の実証運行の意義やねらいを明確にした上で、実証運行を行う地区を選定します。
- ・現段階では、永野地区と大畑地区の2地区を想定しますが、検討結果によっては他の候補地区を選定することを想定します（例えば郊外地区（枝線部）1地区と市街地部1地区など）。

③ 実証運行の企画・準備

◆ 地区住民との意見交換会の開催

- ・ 実証運行を企画する際には、まず各地区住民の移動実態と解決すべき課題を明らかにするとともに、将来の対応方策をイメージしておくことが重要です。
- ・ このため、事前に地区住民との意見交換会（懇談会）を行い、対策の方向性と、そのための実証運行のあり方について、地域住民と認識を共有しておくことを提案します。
- ・ また、実証実験後においても、実験時の影響や効果、改善の方向性を詳細に把握、検討するため、地区住民との意見交換会（懇談会）を実施することを提案します。

【地区住民との意見交換会のイメージ】

- ◇ 各地区 2 回（事前・事後）の開催：2 地区×2 回
- ◇ 意見交換会の目的
 - 〔事前〕・各地区住民の移動実態と解決すべき課題の把握
 - ・ 対策の方向性と実証運行のあり方の確認
 - 〔事後〕・実験時の影響や効果等の詳細把握
 - ・ 改善の方向性（本格導入に向けたサービスのあり方等）の確認
 - ・ 地域の係わり方の確認

◆ 実証運行の内容検討

- ・ 上記の意見交換会の結果をもとに、運輸支局や交通事業者等の関係機関と協議・調整を行いながら、実証運行の内容を検討・立案します。

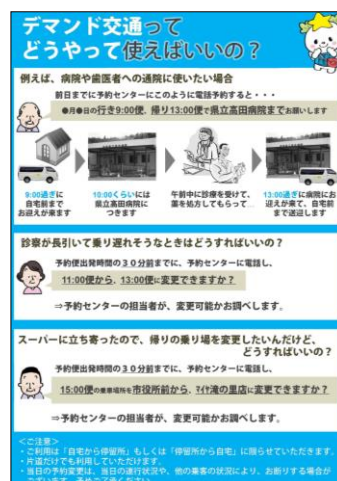
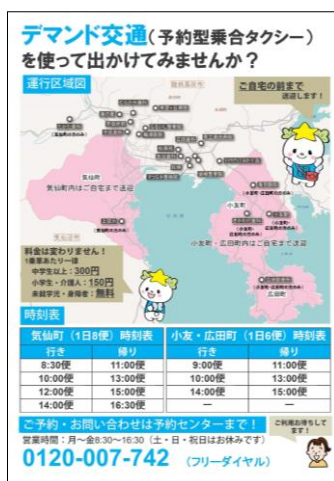
【実証運行の内容検討の項目】

- ◇ 運行形態：デマンド型（予約型）を想定（路線不定期運行、又は区域運行）
- ◇ 運行ルート、又は運行区域
- ◇ 乗降場所：既定バス停（乗降制限含む）、フリー乗降区間・区域
- ◇ ダイヤ・運行日
- ◇ 運賃

など

◆ 実証運行の準備

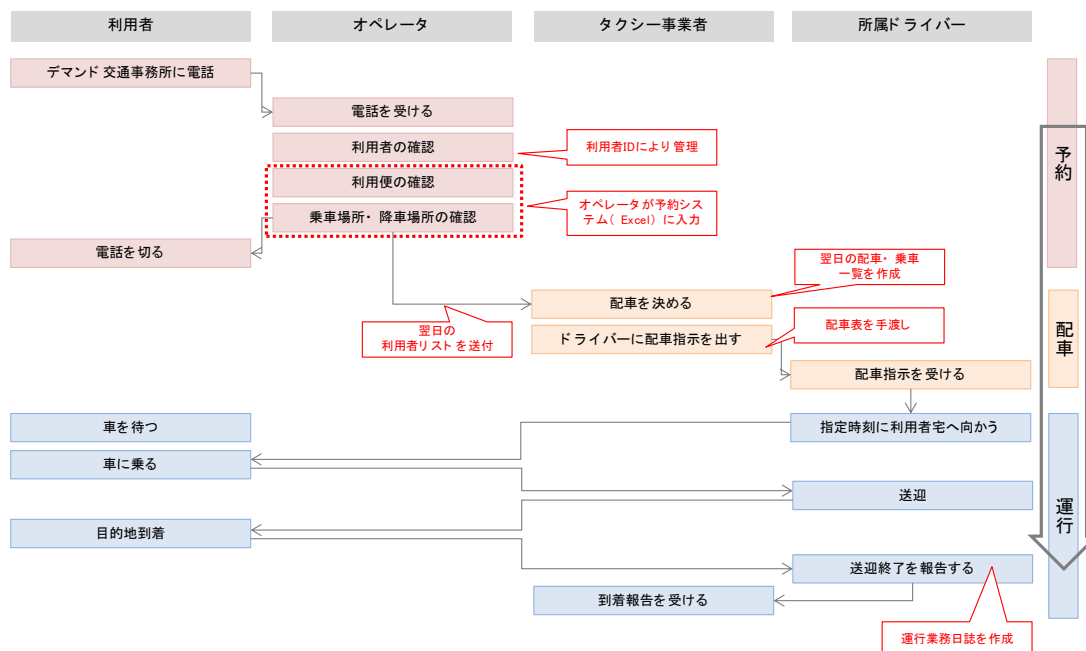
- ・ 実証運行の実施にあたっては地域住民への周知が極めて重要であり、また予約型の区域運行とする場合、一般に利用システムがわかりづらい傾向にあります。
- ・ このため、高齢の方にも利用方法等をわかりやすく伝えるための広報ツール（チラシ）を作成し、全戸配布することを想定します。
- ・ また、必要に応じて説明会を行うことを提案します。



▲ 広報用チラシのイメージ（弊社実績）

◆ 予約システムの検討

- ・デマンド型の区域運行により実証運行を行う場合、既存の予約型乗合タクシー（定路線運行）と異なった予約システム（送迎場所(自宅)の確認）が必要になると考えられます。
- ・実証運行においては、タクシー事業者又は人吉市の予約システムでの対応を基本と考えますが、弊社が他都市で作成し使用しているエクセルファイルによる簡易な予約管理システムの活用可能性についても検討・提案を行います。



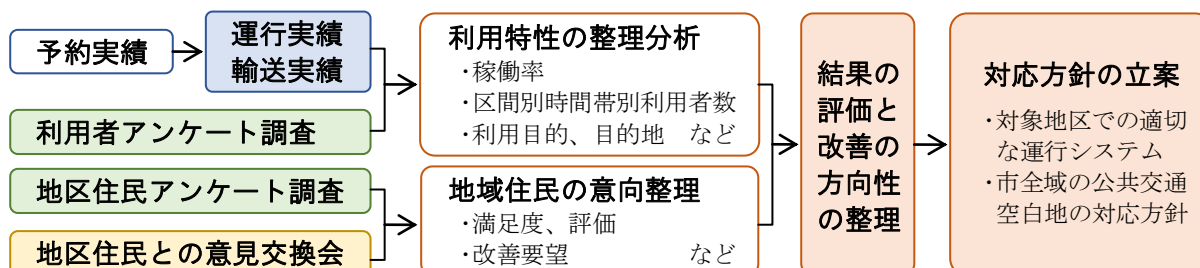
▲ エクセルファイルによる簡易な予約管理システムでの予約～配車～運行の流れ【弊社作成】

④ 実証運行の評価

- ・実証運行に併せて各種調査を実施し、その影響や効果を詳細に分析・評価し、改善の方向性（望ましい運行システム・内容等）を検討します。

⑤ 公共交通空白地での対応方針の立案

- ・上記の評価結果をもとに、実証運行地区での適切な運行システムを提案するとともに、市全域での公共交通空白地の対応方針（後述の「地域公共交通導入に関する指針（考え方）」）を立案します。



▲ 実証運行の評価と対応方針立案の流れ

(6) 人吉市地域公共交通網形成計画のとりまとめ

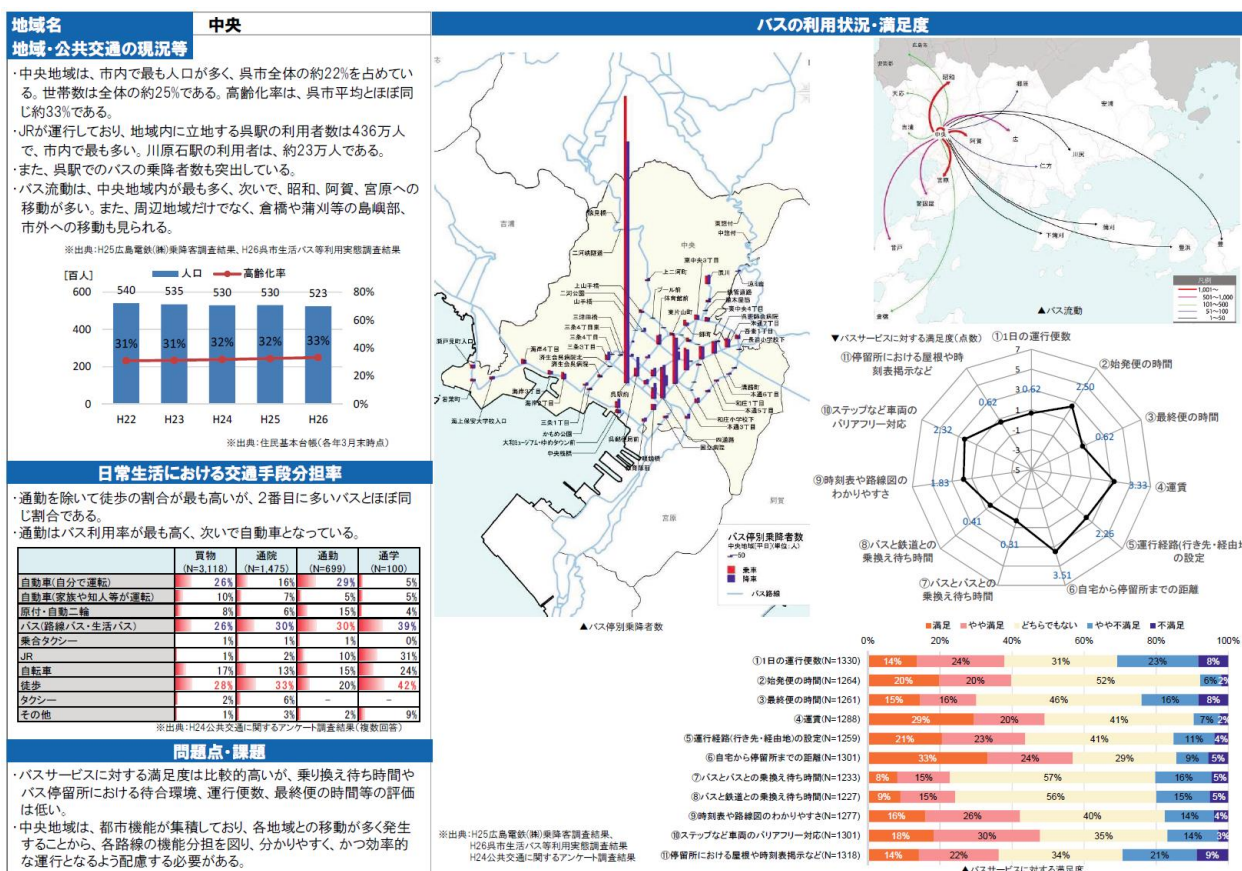
- これまでの調査結果を踏まえ、各種分析等を行うとともに、地域公共交通網形成計画としてとりまとめます。
- とりまとめる地域公共交通網形成計画の構成は下記を想定します。

- ◇ 地域の概況と地域公共交通の課題
- ◇ 基本方針
- ◇ 計画の目標
- ◇ 目標達成のための施策・事業
- ◇ 計画の達成状況の評価

① 地域公共交通の課題整理

【地区別カルテの作成】

- ◆ **小学区単位（6校区）を基本**に、地区別の地域公共交通に関する問題点や課題が明らかになるよう、これまで整理・調査した結果を基に、**カルテを作成**します。
- ◆ カルテの内容は、地区の概況や特性として、**集落等の形成状況や地理的状況**、さらには**日常生活等における行動特性等**を整理します。
- ◆ さらに、地域公共交通の状況や地域公共交通の利用状況を踏まえ、**地区別の問題点・課題を抽出**します。



▲ 地区別カルテのイメージ（弊社実績）

【地域公共交通の問題点の抽出・課題の整理】

- ◆ 地域公共交通の利用実態について、現状分析や地域づくりの方向性を踏まえながら、将来動向を概観した上で、地域公共交通の課題を整理します。
- ◆ 課題の整理にあたっては、市域全体及び地区別の観点から行ないます。

【現状分析】

- ① 生活行動や地域公共交通利用の実態
- ② 地域公共交通のニーズとサービス状況、行政負担の関係
- ③ 地域づくりと地域公共交通サービスの関係 など



【将来動向の概観】

- ① 地域公共交通の利用者数と必要経費
- ② 高齢化に伴う地域公共交通への依存状況 など



【課題抽出の視点】

- ① 地域公共交通サービスと住民ニーズで不整合は生じていないか？
- ② ニーズに対して、公共交通が空白あるいはサービス水準が低い地域はどこか？
- ③ 地域公共交通サービスは観光客等に対して適切なサービスを提供しているか？
- ④ 行政負担は適正か、持続可能か？
- ⑤ 地域の将来像実現に寄与する地域公共交通体系となっているか など

② 基本方針の検討

- ◆ 地域特性や課題、地域づくりの方向性を十分踏まえた上で、『持続可能な地域公共交通体系の創出』を柱とした、地域公共交通に関する基本方針について検討します。
- ◆ なお、基本方針としては、地域間幹線系統を対象とした「人吉・球磨地域公共交通網形成計画」の考え方と整合・連携を図ります。
- ◆ 基本方針は、「ネットワーク形成」「地域に即した交通モードの選択」「地域公共交通相互の連携」「利用促進・需要創発」「地域公共交通の仕組み」「他分野との連携・他分野への貢献」といった観点から検討します。

【地域公共交通に関する基本的な方針：現時点でのイメージ】

◇ 基本的な方針

- ・ 圏域全体・市域での階層的な地域公共交通ネットワークの形成
- ・ 利用ニーズに即しつつ、効率的な運行形態の構築
- ・ 地域公共交通相互の有機的な連携
- ・ 地域公共交通の利用促進・需要創発の推進
- ・ 市民・事業者・行政の連携・共同による新たな地域公共交通づくり
- ・ 他分野と連携した地域資源等を活用した地域公共交通体系の構築
- ・ 圏域全体での観光活性化への貢献 など

③ 計画の目標設定

【目標設定の考え方】

- ◆ 目標設定は、市域全体及び地区別の観点から検討します。
- ◆ 設定は、バックキャスト型で上位関連計画である「第5次人吉市総合計画（後期基本計画）」や「人吉・球磨地域公共交通網形成計画」の目標値と整合を図ります。
- ◆ その他、目標設定にあたっては、地域づくり全般に係る目標と地域公共交通に係る目標が考えられますが、計画策定後に継続的なモニタリングを行うことを想定し、地域公共交通そのものに関する目標を中心に考えます。
- ◆ また、目標設定後は、目標の達成が基本的な方針の実現に貢献するものになっているか、各目標が問題点・課題にきちんと対応しているかを確認します。

【数値目標・目標値の設定】

- ◆ 数値目標・目標値の設定は、既存の統計データや交通事業者が継続取得しているデータ等、大きなコスト負担をかけずに簡易かつ定期的に取得できるデータの活用を積極的に検討します。
- ◆ また、数値指標の設定については、地域住民・交通事業者・行政それぞれが納得した上で設定する必要があるとともに、広く地域住民や公共交通利用者等に理解してもらうために分かりやすい数値指標を選定します。

▼ 目標設定のイメージ

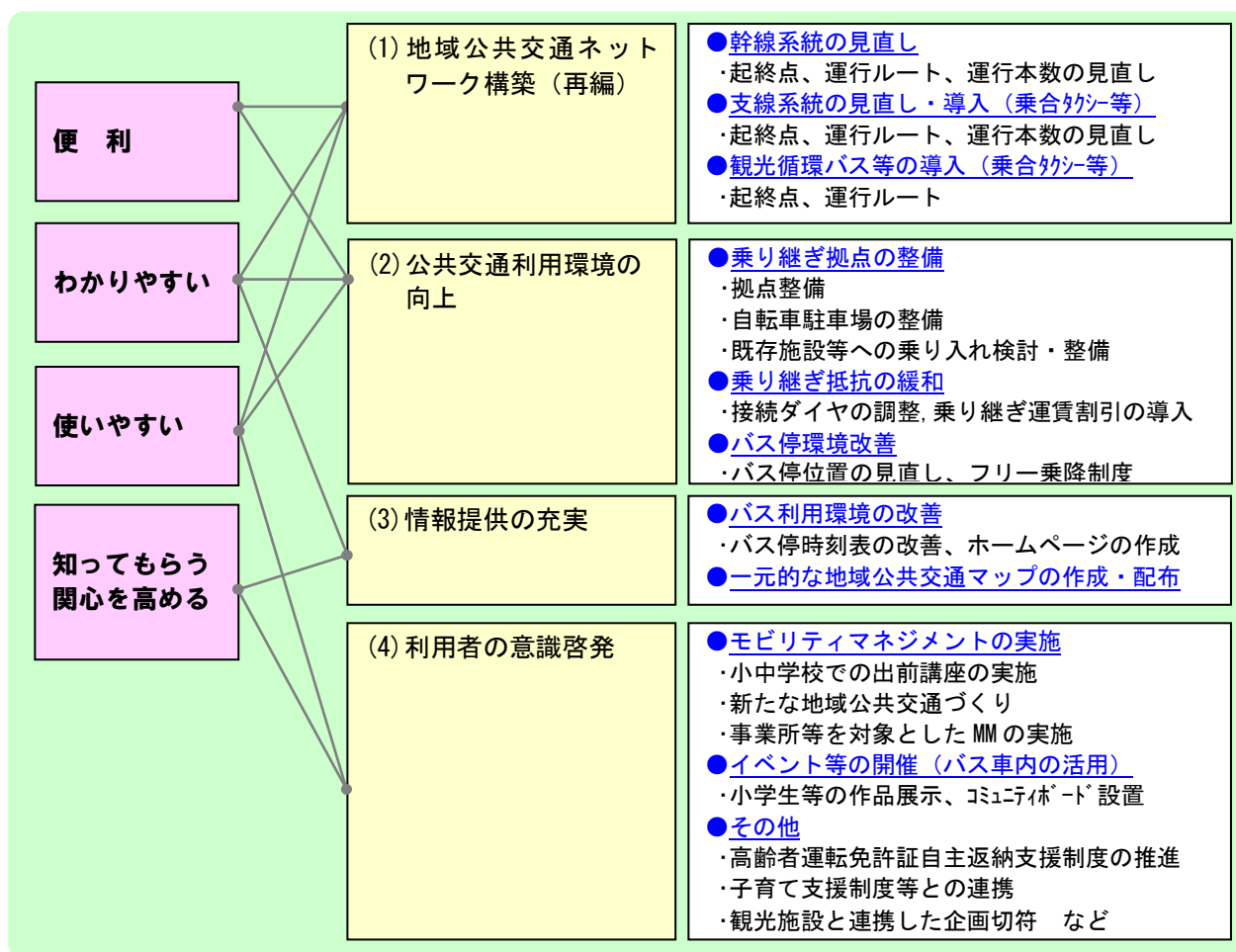
目標の考え方	数値指標	現状値	目標値	出典
上位関連計画との整合 (総合計画)	地方バス支援事業の赤字補てん額	約 55 百万円	約 40 百万円	総合計画
	人吉市予約型乗合タクシー事業の赤字補てん額	-	約 13 百万円	〃
上位関連計画との整合 (人吉・球磨地域公共交通網形成計画)	新たな拠点の創出	-	15 箇所	地域公共交通網形成計画
	複数の交通モードが連携した施策数	5 施策	10 施策	
	利用環境等に対する利用者の満足度	22.9%	44.0%	
	観光客の公共交通機関利用率	21.9%	30.0%	
人吉市全体	路線バスの年間利用者数の減少率	××%	〇〇%	事業者
	路線バスの平均収支率	××%	〇〇%	事業者
	公共交通空白地域の解消	×箇所	〇箇所	市
	観光地への公共交通へのアクセス	×箇所	〇箇所	市
地区別	乗合タクシーの平均乗車人数	×人/回	〇人/回	市
	地区イベント時の公共交通利用率	×%	〇%	市
	新たな地域公共交通の導入	-	〇件	市
	地域による利用促進活動の件数	-	〇件	市

④ 目標達成の施策検討

◆目標達成に向けた施策（実施内容、実施主体、実施時期）について、地域住民や観光客等のニーズを十分踏まえた上で、**多核的な観点から**検討します。

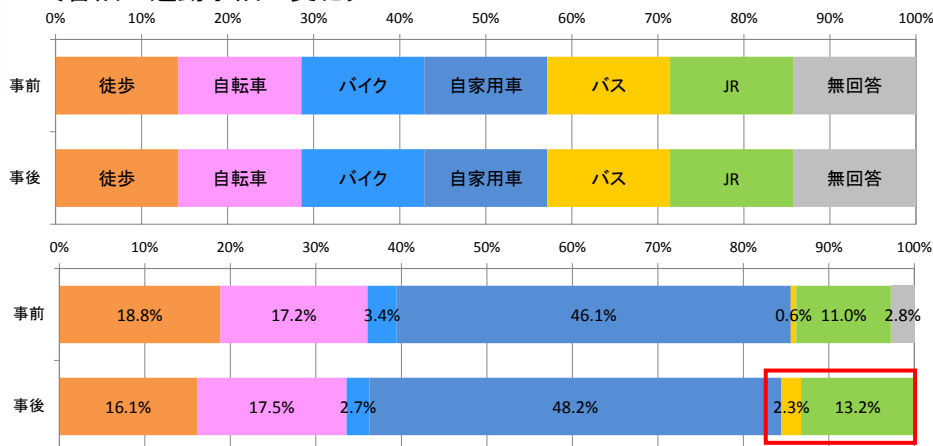
【施策検討イメージ】

- ・人吉・球磨地域公共交通網形成計画の施策メニューと整合を図りつつ、人吉市独自の施策メニューを検討します。
- ・特に、支線系統の見直しや新たな地域公共交通の導入による「地域公共交通ネットワークの再構築」及び利用促進・需要創発に向けた「利用者の意識啓発（特にモビリティマネジメント）」を最も優先して取り組む事項として重点的に検討します。



▼ 市役所職員を対象に実施したモビリティマネジメントの例（弊社実績）

〔普段の通勤手段の変化〕

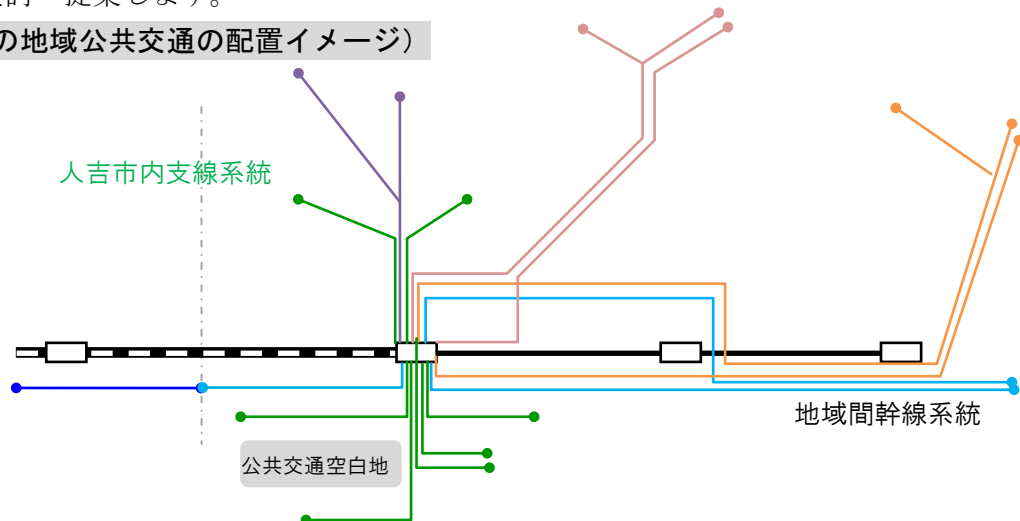


【地域公共交通ネットワーク形成の方針検討】

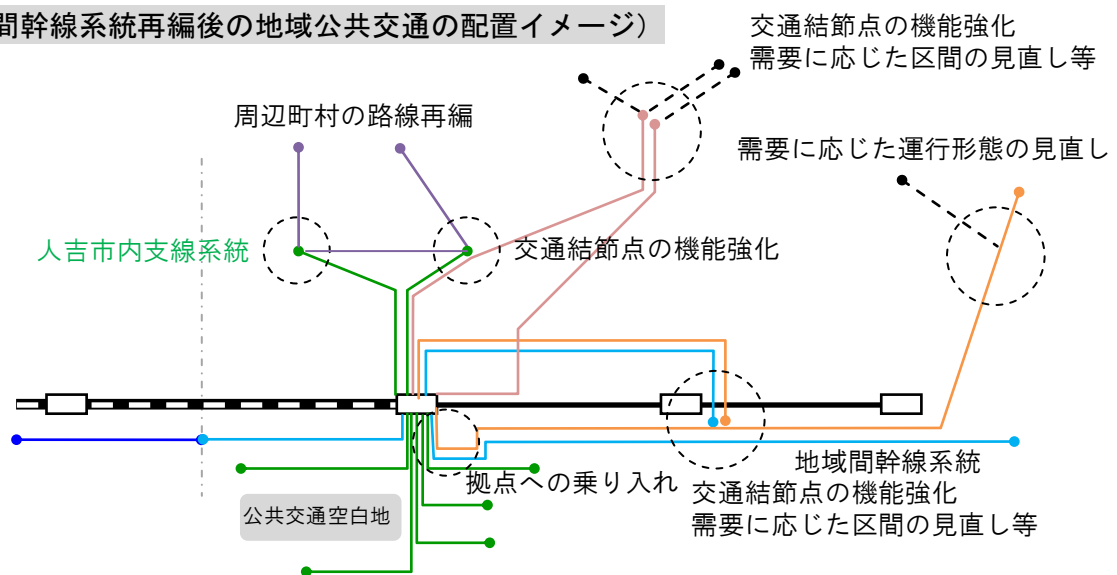
◆ 上記の考え方に基づき、特に幹線系統の再編を主眼に置いた地域公共交通ネットワークの配置方針（幹線・フィーダー系統の適正配置等）について検討します。

- ・地区特性（居住地・目的施設の分布）や移動ニーズ（現在および将来）、施設機能配置状況や道路状況、他交通手段との機能分担等や交通結節点（乗り継ぎ拠点）の配置に配慮しながら、地域公共交通ネットワーク配置（幹線系路線、フィーダー系路線）の方針を検討・提案します。

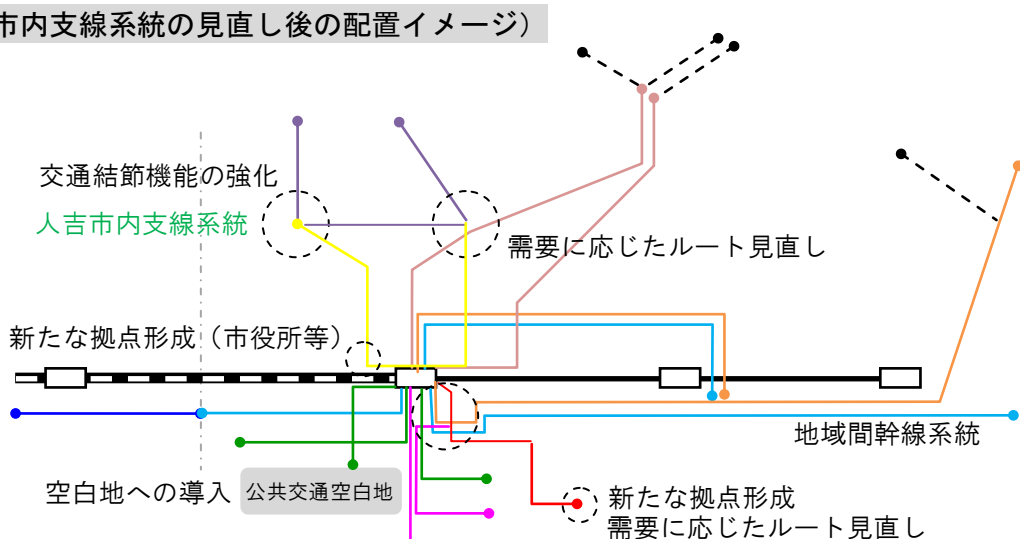
（現在の地域公共交通の配置イメージ）



（地域間幹線系統再編後の地域公共交通の配置イメージ）



（人吉市内支線系統の見直し後の配置イメージ）

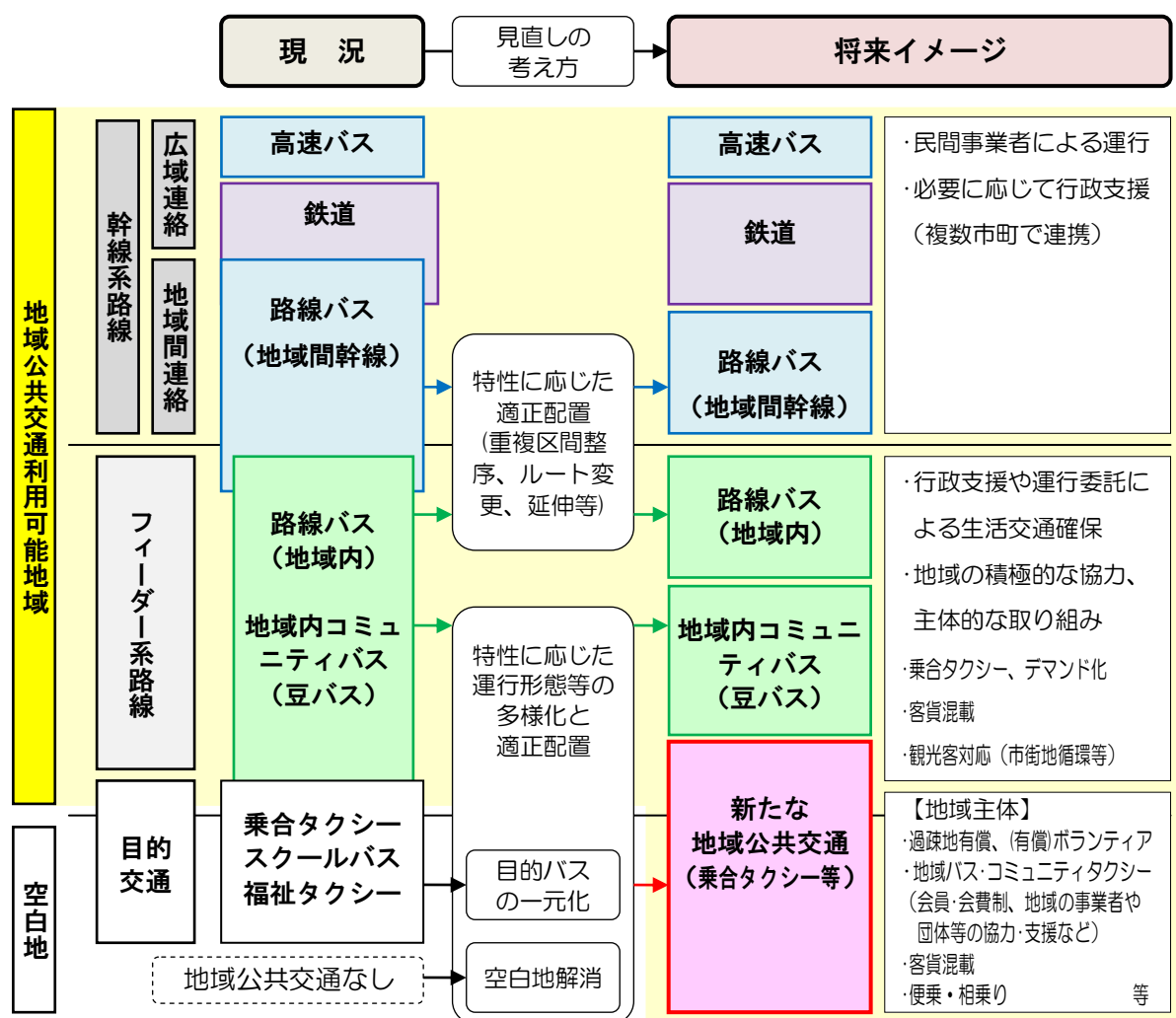


需要に応じた運行形態・ルートの見直し

【地域公共交通の運行形態等の検討イメージ】

- ◆ 地域に見合ったサービスを市全体で体系的に検討するとともに、**利用者ニーズに対応しつつ、各地域公共交通の役割分担を明確に、地域の実情に応じた効率的な運行形態を構築**します。

- 各地区等の特性に適した運行形態や運営手法、さらには導入対象エリアについて検討を行います。
- 検討にあたっては、「需要特性（利用者数、利用目的・時間帯など）」や「採算性」、さらには「路線特性（道路状況、既存路線との競合など）」、「地域コミュニティの状況（地域の協力など）」など、多角的な視点に基づき行います。



【新たな地域公共交通づくりの検討イメージ】

- ◆ 市民、交通事業者、行政の役割分担や地域公共交通の導入等に対する考え方を示した「地域公共交通導入に関する指針（考え方）」となる事項について整理します。

- ・他都市で導入されているコミュニティバスや乗合タクシー等の導入に係る事業・運行スキーム等について収集し、市民・交通事業者・行政の役割分担と導入要件（地域組織等の設立など）や導入の流れ（手続きなど）など地域公共交通の導入等に対する考え方を示した「地域公共交通導入に関する指針（考え方）」の作成を提案します。
- ・指針においては、役割分担等に加え、行政の支援範囲（技術面、費用面、その他）や、地域公共交通の導入地域の要件（公共交通空白地の定義）を明確にします。

（検討すべき事項）

- ・役割分担；事前準備、運行計画、運行準備、運行、モニタリング、評価
- ・導入方法；導入フロー、実証運行期間及び見直し時期、地域組織設立の要件
- ・対象地域の選定基準
- ・運行方法；事業主体、運行事業者、契約方法、事業者選定方法、運行形態
- ・運行サービス；運行日、運行本数、運賃、車両の大きさ
- ・行政負担；初期費用、運行費用
- ・運行継続の基準と実績値（収支率、平均乗車密度、利用者満足度など） など

（公共交通空白地の定義例）

- ・バス停等停留所からの距離が半径〇m以上位置する地域（行政区など）

※上位以外にも、地形的特性の考慮が必要と考えられます。

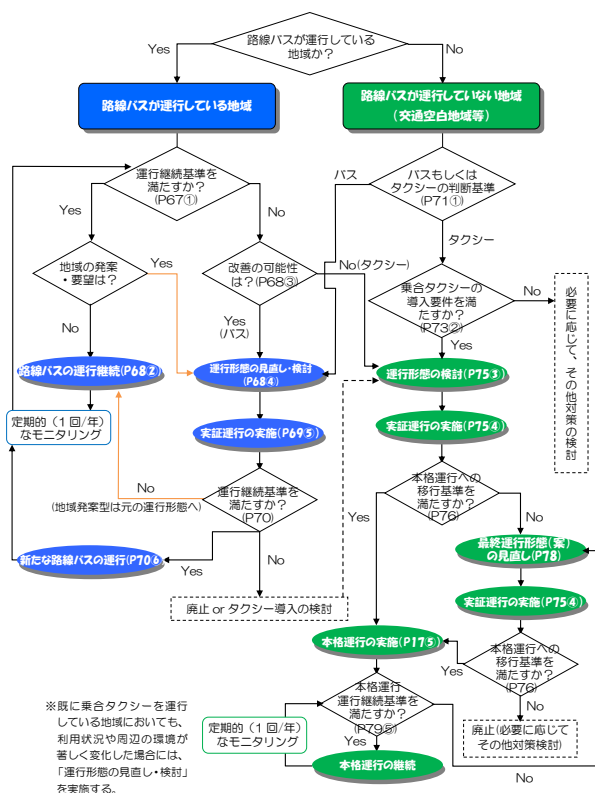
（例）

- ・最寄りのバス停等停留所からの道のりが〇m以上の地域
- ・最寄りのバス等停留所との高低差が〇m以上の地域

※ただし、地域公共交通導入にあたっては、その他下記事項等の考慮も重要と考えられます。

（例）

- ・集落の密集状況
- ・道路幅員や停留所等が設置可能な空間の確保
- ・交通弱者の割合 など



▲ 地域公共交通の導入ガイドラインの例 （弊社実績：熊本県上天草市）

⑤ 計画の達成状況の評価

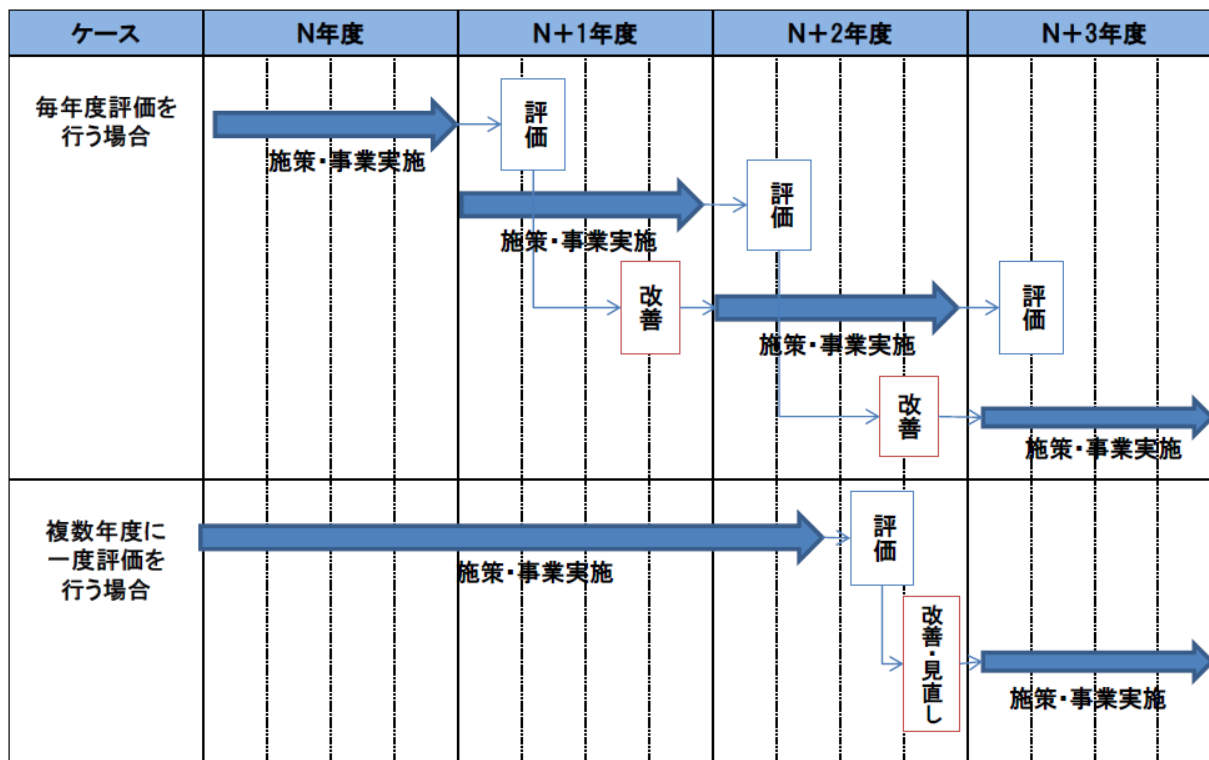
- ◆ 望ましい地域公共交通を確保・維持するためには、**PDCA の実施が不可欠**であり、そのためには状況を判断するための**モニタリングの手法、内容（指標）を明確にし、継続的に実施することが重要**です。
- ◆ そのため、**ビジョン（政策目標）達成のための指標を基本に、継続的にモニタリングが可能な手法（いつ、だれが、どのようにして実施・判断するか）を確立**することを提案します。

■ 全体実施期間の設定

- ・ 網形成計画の計画期間は原則 5 年程度とされていますが、関連計画との整合、財政状況や関係者との合意形成に要する時間等、様々な要素を考慮し、本業務内で地域の実情に即した期間を設定します。

■ モニタリング・評価の仕方

- ・ 評価期間は原則として計画期間の終了時又は網形成計画の見直し時とし、必要に応じて中間評価を実施することを想定しています（計画内でも明記します）。
- ・ 評価体制については、行政職員が全てのモニタリング・評価を実施すると負担が大きく継続困難になることが想定されるため、交通事業者等と役割分担を決め、持続可能なモニタリング・評価のあり方を検討します。



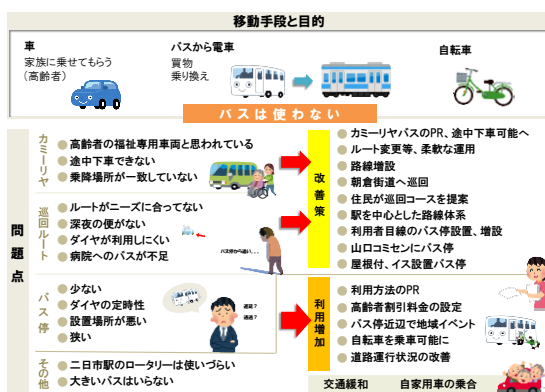
▲ モニタリング・評価のイメージ

(7) 地区別懇談会の開催支援

- ◆ 住民ニーズの収集、計画への反映を目的とした地区別懇談会の開催を支援します。
- ◆ 住民の地域公共交通に対する意識の醸成及び共有を目的に、一方向説明型から双方向対話側の「意見交換の場」として位置づけ、ワークショップ形式等でコミュニケーションの充実を図ります。

▼ 地区別懇談会の実施方針(案)

項目	実施方法・内容等
対象者	■ <u>人吉市全域</u> （小学校区単位） ：東校区・西校区、東間校区、西瀬校区、中原校区（2地区で実施）
実施回数	■ 各地区1回
実施時期	■ 平成28年 <u>9月下旬</u>
実施方法	■ ワークショップ形式
実施規模	■ 30名/地区・会程度（10名程度/1テーブル） ※各テーブルに事務局とコンサルの各1名、計2名配置
内容	■ 日常生活の実態（通院や買物など日常生活での目的地、移動手段等） 移動に際して地域公共交通利用の有無及び利用時の問題点 地域公共交通を利用もしくは維持するための方法



▲ 地区別懇談会の実施イメージ(弊社実績)

(8) 協議会の開催支援

- ◆ 地域公共交通活性化協議会に出席し運営補助、記録・議事録作成を行います。
- ◆ 会議資料については、調査・検討結果をできるだけ図表などを用いて可視化し、分かりやすい資料作成に努めるとともに、論点を明確化した資料作成を行います。

▼ 人吉市地域公共交通活性化協議会の開催予定時期と議題(案)

	開催時期	主な論点(案)
第1回 協議会	平成28年07月下旬	・調査の進め方について ・各種調査の実施方針について
第2回 //	平成28年11月上旬	・各種調査等の結果について ・地域公共交通の課題について
第3回 //	平成29年01月中旬	・地域公共交通のあり方について ・地域公共交通網形成計画(案)について
第4回 //	平成29年03月下旬	・パブリックコメント結果について ・地域公共交通網形成計画について

(8) その他支援

① パブリックコメントの開催支援

- ◆ 人吉市地域公共交通網形成計画（案）に対して、地域住民から広く意見を聴取することを目的に、パブリックコメントを実施します。
- ◆ パブリックコメントの実施にあたっては、人吉市のパブリックコメント実施要綱に従います。

▼ パブリックコメントの実施方針(案)

項目	実施方法・内容等
対象者	■ <u>人吉市全域</u>
実施期間	■ 平成 29 年 <u>2 月上旬～2 月下旬（3 週間～4 週間程度）</u>
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホームページ及び市町村の広報紙への実施に対する掲載 ■ 市ホームページへの掲載、公共施設・交通拠点への資料閲覧・配布 ■ 郵便、FAX、電子メール、書類持参等 ※実施にあたっては、本編に加え、別途 <u>概要版</u> を作成する。
内容	■ 人吉市地域公共交通網形成計画（案）について

② 公共交通だよりの発行支援

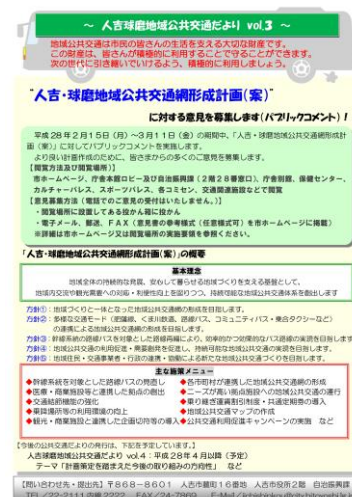
- ◆ 人吉・球磨地域公共交通活性化協議会において平成 27 年度から発行している「人吉球磨地域公共交通だより」の一環として、検討経緯や結果等、地域公共交通への取り組みの見える化を目的に、「人吉球磨地域公共交通だより ～人吉市版～」の発行を提案します。

【定期的なメッセージの発信（公共交通だよりの発行）：“取組の見える化”】について

- ・ 地域公共交通活性化協議会での検討経緯や調査の案内・結果等について、「公共交通だより」として整理（A4 版 1～2 枚程度）し、市ホームページや各戸への回覧板等で配布することで、市民の公共交通に対する理解と関心を高める取組を行うことを提案します。

▼ 公共交通だよりの実施(案)

時期等	実施内容等
検討初期段階 (7 月下旬)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域公共交通網形成計画の検討を行う旨をアナウンス ■ 各種調査実施の事前告知等
検討途中段階 (11 月下旬)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 検討状況のアナウンス ■ 各種調査結果の概要
検討最終段階 (1 月下旬)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域公共交通網形成計画（案）の概要 ■ パブリックコメント実施のアナウンス



3. 業務実施体制

本業務は、以下に示す各技術者により遂行するものとする。

▼ 業務実施体制

区分	氏名	所属・役職	資格	担当する主な業務内容
管理技術者	たけくまふみあき 竹隈史明	九州支社 総合計画課 交通まちづくり室 室長	技術士 (建設部門)	業務全体の企画立案及び 工程管理
照査技術者	あだち まこと 安達 誠	総合計画部 部長	技術士 (総合技術監理部門、 建設部門)	業務全体の品質管理
担当技術者	かなざわひろかず 金沢洋和	総合計画部 交通計画課 交通まちづくり室 室長	技術士 (建設部門)	・公共交通空白地での実証運行 ・人吉市地域公共交通網形成 計画のとりまとめ ・協議会の開催支援
	やまだだいすけ 山下大輔	総合計画部 交通計画課 交通まちづくり室 副室長	RCCM (都市計画及び地方計画)	・人吉市内地域公共交通の利 用実態把握 ・市民ニーズの把握 ・公共交通空白地での実証運行
	あさめす みこ 浅沼淑子	総合計画部 交通計画課 交通まちづくり室 係長	技術士 (建設部門)	・既存資料等の収集・整理 ・地区別懇談会の開催支援
	みやざきやすみち 宮崎保通	九州支社 総合計画課 課長	技術士 (建設部門)	・人吉市地域公共交通網形成 計画のとりまとめ ・地区別懇談会の開催支援 ・協議会の開催支援

4. 打合せ計画

- ・業務を適正かつ円滑に実施するため、常に密接な連絡を取り、業務の方針及び条件などについて確認し、協議の内容については、その都度打合せ記録簿に記録して、相互に確認します。
- ・連絡は、積極的にEメールなどを活用し、フットワークよく業務を遂行します。
- ・なお、業務に関する協議・打合せのみでなく、関係機関との調整・確認等が生じた場合には、協議の場に参加し、協議内容のフォロー及び協議結果に対する意識の共有に努めます。
- ・協議・打合せは、初回・中間・最終の3回を基本としますが、中間打合せは、調査内容の計画時や調査結果のとりまとめ時、さらには各種会議の開催時など、必要に応じて複数回開催することを想定します。

▼ 打合せ協議の計画(案)

打合せ回数	打合せ時期	主な確認内容	備考
①	初回打合せ (業務計画書作成時)	・業務計画書	管理技術者出席
②	中間打合せ	・公共交通空白地での実証運行 ・地区別懇談会 ・人吉市地域公共交通網形成計画など	可能範囲で 管理技術者出席
⑧	最終打合せ (成果品納入時)	・最終成果	管理技術者出席

5. 成果品の内容、部数

成果品の提出については下記の通りとし、提出時期については、発注者の指示によるものとする。

- (1) 報告書（A4縦版カラー両面） 3部
- (2) 人吉市地域公共交通網形成計画（A4縦版, カラー両面100ページ程度, 資料編含）
50冊
- (3) 人吉市地域公共交通網形成計画（概要版） 電子データのみ
- (4) 作成資料、データ（集計等の基データ含む）の電子ファイル（CD-ROM等） 一式

6. 連絡体制

【発注者】

人吉市地域公共交通活性化協議会（事務局：人吉市総務部自治振興課交通政策係）

〒868-8601 熊本県人吉市麓町16

Tel：0966-22-2111(内線2222) Fax：0966-24-7869

【受注者】

復建調査設計株式会社

熊本事務所

〒862-0954 熊本市中央区神水1-2-8

Tel：096-387-3555 Fax：096-387-4263

- ・営業担当者：宮崎 公男(f20265@fukken.co.jp)

九州支社 総合計画課

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-12-24（ジブラルタ生命博多駅東ビル6F）

Tel：092-471-8324 Fax：092-415-3751

- ・管理技術者：竹隈 史明(takekuma@fukken.co.jp) ※担当窓口
- ・担当技術者：宮崎 保通(y-miyazaki@fukken.co.jp)

総合計画部 交通計画課 交通まちづくり室

〒732-0052 広島市東区光町2丁目10番11号

Tel：082-506-1853 Fax：082-506-1893

- ・照査技術者：安達 誠(adachi@fukken.co.jp)
- ・担当技術者：金沢 洋和(kanazawa@fukken.co.jp)
- ・担当技術者：山下 大輔(yamashita@fukken.co.jp)
- ・担当技術者：浅沼 淑子(asanuma@fukken.co.jp)

7. 工程計画

履行期間：平成 28 年 6 月 15 日～平成 29 年 3 月 30 日

検討項目	平成28年			平成29年			平成30年							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
(0) 計画準備														
(1) 既存資料等の収集整理		収集・整理		分析・とりまとめ										
(2) 市民ニーズの把握														
・既存調査結果の詳細分析		内容整理	分析・とりまとめ											
・庁内関係部署ヒアリング調査		企画・立案・準備	実施	とりまとめ										
・関係団体等ヒアリング調査		企画・立案・準備	実施	とりまとめ										
(3) 人吉市地域公共交通の利用実態等把握														
・既存調査結果の詳細分析		収集・整理		分析・とりまとめ										
・乗り込み調査の実施		企画・立案・準備	実施	分析・とりまとめ										
・交通事業者ヒアリング調査		企画・立案・準備	実施	分析・とりまとめ										
(4) 公共交通空白地での乗証運行		再設定・検証	企画・関係機関調整・広報・準備	実施	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回 第16回 第17回 第18回 第19回 第20回 第21回 第22回 第23回 第24回 第25回 第26回 第27回 第28回 第29回 第30回 第31回 第32回 第33回 第34回 第35回 第36回 第37回 第38回 第39回 第40回 第41回 第42回 第43回 第44回 第45回 第46回 第47回 第48回 第49回 第50回 第51回 第52回 第53回 第54回 第55回 第56回 第57回 第58回 第59回 第60回 第61回 第62回 第63回 第64回 第65回 第66回 第67回 第68回 第69回 第70回 第71回 第72回 第73回 第74回 第75回 第76回 第77回 第78回 第79回 第80回 第81回 第82回 第83回 第84回 第85回 第86回 第87回 第88回 第89回 第90回 第91回 第92回 第93回 第94回 第95回 第96回 第97回 第98回 第99回 第100回									
(5) 人吉市地域公共交通網形成計画のとりまとめ														
(6) 地区別懇談会の開催支援														
(7) 協議会の開催支援														
・「人吉・球磨地域公共交通活性化協議会」		第1回												
・庁内担当課長会議		第1回												
その他支援														

8. 成果品の品質を確保するための計画

本業務において、照査技術者は、業務の節目ごとに管理技術者に中間成果を提出させ、その内容を確認するとともに、業務の進行について承認または助言するものとする。なお、不備な点については成果を修正するものとする。

本業務における照査時期及び内容は、以下を予定する。

▼ 成果品の品質を確保するための計画

照査時期	照査項目	主な照査内容
業務計画書作成時	業務の目的、主旨、基本条件	<ul style="list-style-type: none"> ・目的・主旨を理解したか。 ・実施方針について確認したか。 ・業務の項目、工程等について具体的内容を把握したか。 ・技術提案書との整合性などを確認したか。 ・検討対象となる地域を確認したか。 ・貸与資料を確認したか。 ・受注時登録のTECRISを準備したか。
現状把握のための調査実施時	実態調査の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・実態調査の方法は本業務の目的と整合が図れているか。 ・調査実施にあたって安全確保はされているか。 ・調査実施にあたって必要な申請等は実施されているか。
地域公共交通網形成計画作成時	計画内容の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・必要項目は網羅されているか。 ・数値目標やモニタリング手法は妥当か。 ・目標達成に向けた施策体系が整理されているか。 ・実施主体等は整理されているか。
成果納品時	成果品の品質等	<ul style="list-style-type: none"> ・誤字、脱字等が無い。 ・採用したデータ等の入力ミスが無い。 ・最終的なアウトプットが当初の業務目的と整合しているか。 ・成果品の数量は適合しているか。 ・完了時のTECRISを準備したか。

9. その他

成果品の品質確保を図るため、弊社取得のISO9001：設計管理規定に準拠し、社内照査を検討段階に合わせて実施する。

複 写

登 録 証

登録番号: Q2653

登録日: 1998年02月20日

改訂日: 2016年01月07日

有効期限: 2018年09月14日

(ASR 移転日: 2013年07月29日)



復建調査設計株式会社

本社
広島県広島市東区光町 2-10-11

貴社の品質マネジメントシステムは、当社の審査の結果

JIS Q 9001:2008 (ISO 9001:2008)

の要求事項に適合していることを証明します。

<登録範囲>

- ・建設コンサルタント(河川、砂防及び海岸・海洋、港湾及び空港、道路、鉄道、上水道及び工業用水道、下水道、農業土木、森林土木、造園、都市計画及び地方計画、地質、土質及び基礎、鋼構造及びコンクリート、トンネル、施工計画、施工設備及び積算、建設環境、水産土木、廃棄物)
- ・補償コンサルタント
- ・地質調査
- ・測量

本認証は、上記登録範囲に限り有効とします。

本認証は、品質マネジメントシステムが審査登録要求事項に適合して維持されていることを条件に有効とします。

本登録証は、付属書及び認証登録情報と併せてご覧ください。



エイエスアール株式会社

東京都中央区日本橋大伝馬町 2-7

上級経営管理者

小林 克也



その他、個人情報の取扱については、弊社取得のプライバシーマークに従い、適切に行うものとする。

プライバシーマーク
登録証



■ 登録番号 第27000102(02)号

■ 事業者の名称及び所在地

復建調査設計株式会社

広島県広島市東区光町二丁目10番11号

■ プライバシーマーク付与の有効期間

平成28年4月3日～平成30年4月2日

■ プライバシーマーク付与適格性について審査を行ったプライバシーマーク指定審査機関

特定非営利活動法人中四国マネジメントシステム推進機構

一般財団法人**日本情報経済社会推進協会**



JIPDEC